

5月 給食だより

令和8年 4月 27日
 鷹南学園三鷹市立第五中学校
 校長 櫻井 勉
 栄養士 竹川 陽子



新茶の季節です！

5月2日は八十八夜です。立春（2月4日ごろ）から数えて88日目の日にあたり、霜が降りなくなり気候が安定する時期として、昔から農作業を始める目安とされてきました。八十八夜といえば、「夏も近づく八十八夜〜♪」という茶摘み歌が知られていますが、茶畑では新茶の収穫時期を迎えます。八十八夜に摘んだ新茶を飲むと長生きするという言葉があるように、お茶には健康に役立つ成分がたくさん含まれています。急須でお茶をいれる機会が少なくなっていますが、この時期だけの新茶を楽しんでみませんか？



お茶に含まれる成分と健康効果

5/1「米粉の抹茶蒸しパン」をお出します♪

| カテキン類 | テアニン | ビタミンC | フッ素 | カフェイン |
|-----------------------------|----------|-----------------------------|-------|------------------|
| ★抗酸化作用 ★殺菌作用 ★口臭・虫歯予防 | ★リラックス効果 | ★抗酸化作用 ★風邪予防 ★肌を健康に保つ | ★虫歯予防 | ★疲労回復 ★眠気を覚ます |
| ※とり過ぎに注意が必要です。 | | | | |



端午の節句のおはなし



毎年5月5日は、男の子の健やかな成長と幸せを願う「端午の節句」です。中国から伝わった行事で、別名で「菖蒲の節句」ともいいます。もとは邪気を払うとされる菖蒲やよもぎを摘んで、家の軒先に飾ったり、お風呂に入れたりして無病息災を願う風習がありました。江戸時代の武家社会において、菖蒲が「尚武（武を尊ぶこと）」や「勝負」に通じることから男の子の節句となり、武者人形やかぶとなどを飾るようになりました。5月5日は、「こどもの日」でもありますが、こどもの日は男女関係なく、「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」ことを目的に制定された国民の祝日で、本来は別の行事です

端午の節句の食べ物

| | |
|---|--|
| <h4>ちまき</h4> <p>チガヤや笹の葉などで、米やもちを包んで蒸したりゆでたりしたもの。中国から伝わった食べ物で、地域によって包む葉や作り方はさまざまです。</p> | <h4>かしわもち</h4> <p>あんこ入りのもちを柏の葉でくるんだもの。柏の葉は、新芽が出るまで古い葉が落ちないことから、「家系が絶えないように」という縁起を担いで用いられるようになりました。</p> |
| <h4>カツオ</h4> <p>「かつお」＝「勝男」にかけた縁起物として、旬の初カツオが食べられています。カツオの産地では、こいのぼりではなく、かつおのぼりを掲げるところもあります。</p> | <h4>たけのこ</h4> <p>成長が早く、まっすぐに育つ竹にあやかり、子どもがスクスク成長するようにと願いを込めて、旬のたけのこを使った料理も食べられています。</p> |